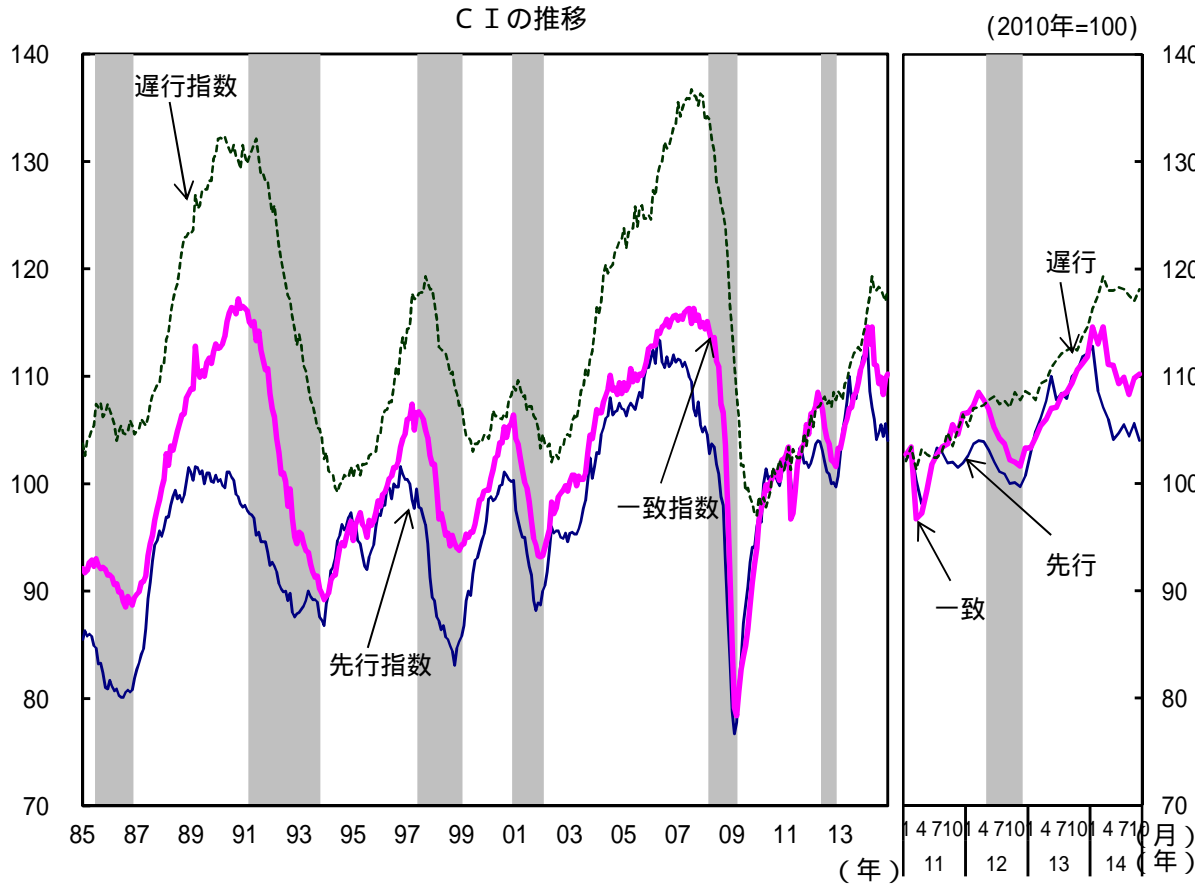


(参考1) 景気動向指数



一致指数採用系列の寄与度

	14年7月	8月	9月	10月
一致指数	109.9	108.3	109.8	110.2
生産指数(鉱工業)	0.04	-0.24	0.35	0.02
鉱工業生産財出荷指数	0.15	-0.12	0.41	-0.06
大口電力使用量	-0.11	-0.09	-0.26	0.22
耐久消費財出荷指数	-0.12	-0.18	0.47	-0.21
寄与度 所定外労働時間指数(調査産業)	-0.09	-0.20	0.09	0.02
投資財出荷指数(除輸送機械)	0.30	-0.54	0.26	0.38
商業販売額(小売業、前年比)	0.11	0.05	0.10	-0.08
商業販売額(卸売業、前年比)	0.04	-0.16	0.28	-0.08
営業利益(全産業)	0.10	0.09	0.08	0.07
中小企業出荷指数(製造業)	0.24	-0.04	-0.11	0.17
有効求人倍率(除学卒)	-0.12	-0.12	-0.23	-0.01

景気基準日付

循環	谷(年/月)	拡張(ヶ月)	山(年/月)	後退(ヶ月)
1			1951/6	4
2	51/10	27	54/1	10
3	54/11	31(神武)	57/6	12
4	58/6	42(岩戸)	61/12	10
5	62/10	24	64/10	12
6	65/10	57(いざなぎ)	70/7	17
7	71/12	23	73/11	16
8	75/3	22	77/1	9
9	77/10	28	80/2	36
10	83/2	28	85/6	17
11	86/11	51(バブル)	91/2	32
12	93/10	43	97/5	20
13	99/1	22	2000/11	14
14	02/1	73	08/2	13
15	09/3	37	12/04(暫定)	7(暫定)
平均		36		15

(備考) 内閣府「景気動向指数」により作成。景気基準日付は内閣府による。ただし、「神武(景気)」「岩戸(景気)」等は景気拡張期の通称であり、公式のものではない。
 グラフのシャドー部分は景気後退期を示す。また、2012年4月の山と2012年11月の谷は暫定。